

2025
2015
9/2

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/有田 洋明 編集人/樋口 浩之
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

戦争法を許さない
毎週水曜日 大宣伝
9月9日・16日
18時30分~19時30分
なんば高島屋前

戦争法は 廃案しかない



大阪では扇町公園に2万5千人が集まった。府職労からも100人を超える組合員・家族が参加した。



日本全国1000ヶ所超で 100万人の大行動

9月27日まで会期延長された国会で「安全保障関連法案」戦争法案の審議が続いています。国会審議を通じて、日本が戦争に参加し、殺し・殺される事態になることが明らかになり、国民の反対の声は大きく広がっています。

8月30日には、日本全国で100万人行動がとりくまれ、国会周辺には12万人、大阪では扇町公園(大阪市北区)に2万5千人が集まりました。

集会では呼びかけ人を代表してラジオパーソナリティの小山乃里子さんのあいさつに続き、民主・共産・社民の代表があいさ

つし、創価学会有志のスピーチもありました。また、29日には「うちろ本気で！廃案しかない戦争法案」をスローガンに「おおさか女性行進」が行われ600人が参加しています。



沖縄でも2500名が集まって集会。有田委員長が代表参加。



6月末からとりくんでいる府職労職場学習会。現在で50職場600人が参加している。写真は成人病センターでの学習会の様子。

国会前行動

府職労では毎週金曜日にとりくまれている「SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)」の呼びかける国会前行動と参議院議員への要請行動に、青年・若手組合員を中心に代表派遣を行っています。

参加者の感想

何があっても戦争はすべくない

議員要請をするまでは「どこまで効力があるのかな」と思っていました。実際に参加してみても、議員と要請する側とのつながりというものを感ずることができました。要請は意味あることだと思いますし、またそういう人が多く集まることが重要なんだと実感できました。

戦争は「何があってもすべくない」と言いたくくらしい私も戦争法には疑問を持っていました。今回の集会で同じような若者がここまで動いていた事実には驚きました。もう少し早く関心を持って調べていれば、私も集会やデモに積極的に参加したのかなと残念に思います。非常に勉強になりました。機会となりましたので、参加してよかったです。

採用2年目・23歳女性

関心持ち行動する 大切さを実感

大阪府出身の参議院議員の方への要請行動をしたあと、国会議事堂前の道路で行ってありますSEALDsという20代の若い方たちで結成している団体の活動に参加させて頂きました。コールの音頭をとっている

今回参加した時にSEALDsのメンバーの方の演説で就職活動中の学生の「このデモ運動に参加することで就職に影響しなくていいですが、今の場所での反対運動に参加しなかったら、きっと後悔する」という言葉が非常に印象的で、ここ

不安世界の見方変わる



国会周辺には12万人の人が押し寄せた。人が多すぎて地下鉄の駅から出られない人も。(毎日新聞8月31日付朝刊)

方々は大学生がほとんどで、自分より10歳も年下の若者たちが本当にこの国のために思い活動していることに、自分が住んでいるこの国の政治に興味を持たず、目をそらして生きていたのかを実感しました。自分より年の若い青年たちが戦争法案(集団的自衛権)によって起きうる日本の未来を本心に心配しており、自分が年長者として何ができるのかを考えるいい機会となり、今回のデモに参加することで政治に対してちゃんと理解して、ただ決まったことに対して不満を述べるだけの人間にならないようにと思うようになりました。

8月14日、安倍首相は「70年談話」を発表しました。中国や韓国から激しい非難も、アメリカからも一定の評価を得たようです。主語がなく安倍首相の思いが分からないなどの批判はありましたが、「引用」という形で歴代内閣の考えを継承し、長い文章で煙に巻いたのが成功したのでしょうか、支持率も少し回復したそうです。安倍首相の考えをストリートに出せば、アメリカも含めて了解されないことがわかり、村山談話を継承した形を取らざるを得なかったのでしょうか。彼にとっては、村山談話を修正することが重要だったのではないのでしょうか。彼の考えを受け継ぐ首相が出てきた時にどうなるか、「憲法9条を守れ」の運動は重要ですか。あと2年半で明治維新150年を迎えます。東京大学名誉教授の坂野潤治さんは、戦前80年、戦後70年の「立憲主義」をつづってきた歴史を強調し、法哲学の長尾龍一さんは米国流「戦う民主主義」にどうぶつかることに懸念を示しています。▼世論調査では慎重審議を求める声も増えていきます。立憲主義の危機が言われ、日米同盟を第一にした今回の安保法制は廃案しかありません。(T)

遊歩道

8月14日、安倍首相は「70年談話」を発表しました。中国や韓国から激しい非難も、アメリカからも一定の評価を得たようです。主語がなく安倍首相の思いが分からないなどの批判はありましたが、「引用」という形で歴代内閣の考えを継承し、長い文章で煙に巻いたのが成功したのでしょうか、支持率も少し回復したそうです。安倍首相の考えをストリートに出せば、アメリカも含めて了解されないことがわかり、村山談話を継承した形を取らざるを得なかったのでしょうか。彼にとっては、村山談話を修正することが重要だったのではないのでしょうか。彼の考えを受け継ぐ首相が出てきた時にどうなるか、「憲法9条を守れ」の運動は重要ですか。あと2年半で明治維新150年を迎えます。東京大学名誉教授の坂野潤治さんは、戦前80年、戦後70年の「立憲主義」をつづってきた歴史を強調し、法哲学の長尾龍一さんは米国流「戦う民主主義」にどうぶつかることに懸念を示しています。▼世論調査では慎重審議を求める声も増えていきます。立憲主義の危機が言われ、日米同盟を第一にした今回の安保法制は廃案しかありません。(T)